

令和元年度第2回5月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和元年5月15日(水)午後2時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久

4. 議 題

(1) 「天皇陛下と栃木県」について

4月27日(土) 14:00~放送

報道制作部 川島育郎

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「天皇陛下と栃木県」について

4月27日(土) 14:00～放送

報道制作部 川島育郎

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局川島が番組の企画・制作内容について説明した。

令和という時代を迎えるにあたり、天皇陛下と栃木県とのかかわりについて貴重なアーカイブ音源や陛下とゆかりの深い方々の証言を交えて番組を構成したなどと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- 天皇陛下が栃木県でこのような活動をしていたのかと思い知らされた。県民に知ってもらえてとても良かった。陛下の声がきれいで聞きやすいことがラジオで聴いて初めて分かった。
- 初めて知ったことが多かった。陛下はとても国民に寄り添っているということがよく分かった。良い番組だった。
- タイムリーな番組で良かった。BGMが良かった。
- とても良い企画の番組。農業に対する心遣いも改めて知ることが出来てよかった。冒頭の一部でつながりがわかりづらいところがあった。
- ラジオならではの番組構成で良い。年齢を経ていくところなど音だからこそよくわかることがあった。新聞でも同じような企画をやったが、独自に栃木を振り返ることが出来てとても良い企画
- 天皇陛下の声は数が少ない。どのような番組にするのかと思ったが、限られたものの中でよく出来た番組だった。いろいろなことがあったということに気付かされた。
- 皇太子殿下の頃から現在に至るまでの話の変遷がよくわかって興味深く聴くことが出来た。音楽やナレーションも良かった。アーカイブ音源を保存しているのは良いこと。この時期はどのマスコミも取り上げていて、時代が変わるということに少し浮かれすぎているのではないか。
- これからの皇室をどう捉えていくか、つながりの深い栃木県の放送局として考えていくべき。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

7月開催日程について、都合により7月17日(水)に変更することとした。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(令和元年5月26日(日) 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(令和元年6月1日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年6月1日～)

以上